

令和3年度 但馬支部 講演会・新人発表会

プログラム・抄録集

日時 令和4年1月29日（土） 13:00～

場所 オンライン(zoom)

※事前の申し込みをお願いします

担当 (一社)兵庫県理学療法士会 但馬支部

～プログラム～

講演会 受付開始 12 : 45～

但馬支部 講演会 13 : 00～16 : 00

座長：山田 和希(公立豊岡病院 リハビリテーション技術科)

『呼吸障害に対する理学療法を考える～COPD・肺炎・COVID-19などを中心に～』

講師：玉木 彰先生（兵庫医療大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 教授）

— 休 憩 —

新人発表会 受付開始 16 : 15～

但馬支部 新人発表会 16 : 30～

兵庫県理学療法士会より

講師：有吉 智一 先生（兵庫県理学療法士会 理事）

新人発表

座長：後藤 茉里子(公立豊岡病院 リハビリテーション技術科)

1. 福祉用具の導入によってベッド～車椅子の移乗が自立した一症例

養老 宣太郎（但馬長寿の郷 地域ケア課）

【参加者へのお願い】

- ・本会は兵庫県理学療法士会会員対象です。
- ・新人発表会では、発表者にはC-6「症例発表」の単位が認定されます。
- ・講演会は新人教育プログラム「C-3 内部障害の理学療法」、生涯学習制度における履修ポイント「内部障害系理学療法分野 認定PT（呼吸）・専門PT」に該当します。
- ・WEB開催にてZOOMを利用しますので、当日使用するパソコン、タブレット、スマートフォンに事前にインストールしてください。
- ・回線等の都合上、音声等が乱れることがあります。
- ・別紙のWEB研修会利用規約および注意事項を必ずご確認の上、お申込みください。
- ・発表時間：7分、質疑応答は演題ごとに8分となっております。
- ・聴講の際はマイクはミュート、ビデオはオンにして参加してください。
- ・質問の際は、座長の指示に従って氏名・所属を告げた上で活発に行ってください。

福祉用具の導入によってベッド～車いすの移乗が自立した一症例

但馬県民局但馬長寿の郷

養老 宣太郎

【はじめに】

要介護4の対象者にトランスファーボード（以下、TB）を導入、移乗動作が自立し、介護負担が軽減した事例を報告する。

【症例紹介】

100歳代男性。現病歴：うっ血性心不全、高血圧症。既往歴：2年前に転倒。左大腿骨転子部骨折の診断を受け、骨固定術を施行。骨折前ADL自立。介護保険：電動ベッド、自走用車いす（アームサポートの跳ね上げ可）。

ベッド～車いすの移乗介助の負担軽減を目的に介護支援専門員（以下、CM）と訪問した。

【倫理的配慮】

ヘルシンキ宣言に則り、本人・家族に症例報告の説明を行い、同意を得た。

【初期評価】

粗大筋力：上下肢3レベル。ROM：ADLに及ぼす制限なし。FIM：73/126点（移乗1点）。寝返り・起き上がり・立ち上がり動作：全介助。端座位・座り直し：自立。移乗：介護者2人で全介助。

【初回介入】

移乗全介助により、本人・介護者の負担が大きいことを問題とし、TBを用いた移乗動作の獲得を目標とした。本人・介護者に口頭でTBの使い方を説明し、移乗の際にはベッド柵を取外す必要性を伝えた。結果、介護者は介助の手間が増えると判断し、本人は移乗方法が理解できず、TBの導入に至らなかった。

【中間評価・介入（初回介入+7日）】

本人・介護者への聞き取り：TBの具体的な使用方法や利点の理解が不十分であった。

本人・介護者のTBの使用方法及び介護負担軽減の理解不足を問題とし、TBを用いた移乗介

助を実演した。結果、本人・家族はTBの使い方や介助負担が軽減することが理解でき、TBの導入に至った。

【最終評価（初回介入+21日後）】

CMに聞き取りを実施。FIM：移乗5点。移乗介助：介護者がTBを設置する介助のみで移乗可能。本人の体調が良い日は自立。

【考察】

TBを用いた移乗では、使用者の安定した端座位が必要となる。本事例もTBの適応と判断したが、口頭のみで説明したことが本人・介護者の理解不足を招き、TBの導入に至らなかった。

櫻田は、行動変容を促す要因にコスト感（主観的障害）、利得感（主観的利得）及び行動を上手く実践する見込み感（セルフエフィカシー）が実行可能性を左右すると報告している。

初回介入では、「ベッド柵の取外し」というコスト感を中心に伝えたことで介護者は負担感が増えると思い、導入できなかつたと考える。2回目の訪問ではこれらを踏まえ、介助実演したことで、介護者は立ち上がり介助の必要がない利得感を獲得し、「介助を実際に見る」という代理体験により見込み感が高まったと考える。以上より、介護者が利得感及び見込み感を正確に理解できたことがTBの導入に寄与したと考える。

【まとめ】

本事例から、本人・介護者の意思が重視される在宅支援の難しさを感じた。また、正確な評価のうえで、本人・家族に必要となる提案を実際に見せ、体験させることが本人・家族の「してみよう」という思いを高めることを学んだ。

オンライン研修会利用規約および注意事項

- ・本研修会の申込者は、本規約および注意事項の内容をすべて確認し、遵守することに同意したものとします。
- ・本研修会を受講するにあたって必要な Web 環境は、受講者の負担及び責任において準備及び維持するものとする。なお、通信トラブルで受講が困難になった場合は、本研修会は一切責任を負わないものとする。
- ・Web 研修会において遵守すべき点(禁止事項)・モラルを今一度確認していただき、本研修会での研鑽を深めていただけましたら幸いです。

禁止事項

- ・申込者以外がログイン用の ID やパスワード、URL 等を使用することはできない。また、それを漏洩、貸与、譲渡、売買、名義変更はできない。
 - ・研修会で用いられたファイルや(Word、Excel、PowerPoint など)、また PDF ファイルや動画ファイルの不正ダウンロード、印刷、撮影(スクリーンショットを含む)、コピー、ダイレクトデータの SNS への投稿を禁止します。
- またコメント欄や SNS でなど講師やその他の個人情報などを書き込む行為も禁止とします。

